

メモリーキーパーUSB 取扱説明書

必ずご使用前に以下をよく読み、本紙を保管してください。

はじめに

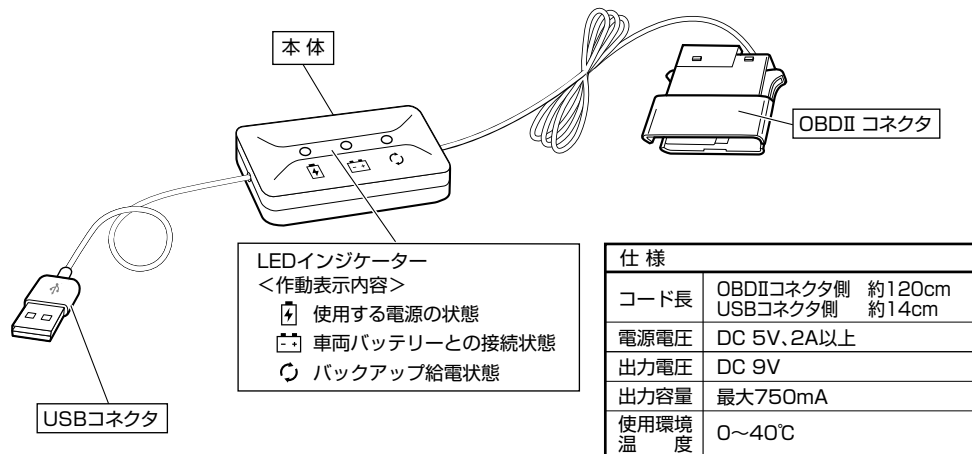
本製品は、2006年(H18年)1月以降に日本国内で初度登録されたOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)を装備した四輪車専用です。

- 本製品はメルセデスベンツ車には使用できません。
- 本製品は12V車専用です。
- 本製品は二輪車では使用できません。
- 本製品の使用には2A以上の電流を出力可能なUSB-A端子を備えたモバイルバッテリーやポータブル電源(以下、モバイルバッテリーと記す)が必要です。別途、ご用意ください。
- 上記仕様のすべてのモバイルバッテリーでの動作を保証するものではありません。
- 本製品の使用中に万が一、車両の設定・メモリーが消失した場合、当社では責任を負いかねます。
- バッテリー交換作業中に車両の消費電流が本製品から出力できる750mAを上回るとメモリーが消失します。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、車両の電流消費を抑えるため、全てのドアを閉める必要があります(座席下やラゲッジルームなど車内にバッテリーが設置されている車両の場合、メモリーが消失するおそれがあります)。
- 駐車監視録画機能付きのドライブレコーダーなど、エンジン停止中も電流を消費する機器を装着している場合は、配線を外すなど、それらの機器が動作しないようにしてください。
- 個人がバッテリー交換することを禁止している車種があります。バッテリー交換の可否については車両販売店に確認してください。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、30分以内に作業を完了させてください。

特長

- バッテリー交換時に本製品がバッテリーの代わりに給電を行うことで、車両に装備された時計やナビ・オーディオなどのメモリー消失を防ぎます。
- 車両との接続は車内のOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)を利用。バッテリー脱着作業を妨げることなく、簡単・確実に使用できます。
- 本製品の作動状態が確認できる3つのLEDインジケーターを装備。安心してバッテリー交換作業を行うことができます。

製品構成



⚠️ 注意 必ずお読みください。

- 本製品を分解や改造、直接配線しないこと。
- 本製品を車両装備のUSB電源に接続して使用することはできません。
- 本製品はモバイルバッテリーやポータブル電源専用です。パソコンやAC式充電器などのUSB端子には接続しないでください。
- モバイルバッテリーやポータブル電源は直射日光のあたる場所や高温になる場所で使用・設置しないこと。異常発熱や発火する恐れがあります。
- コネクタを取り外す時は、絶対にコードを引っ張らないでください。破損するおそれがあります。
- 保管の際は、直射日光のあたる場所や高温になる場所には置かないこと。
- 本製品は防水仕様ではありません。車外での使用、取り付けはしないでください。
- 本製品はバッテリー交換作業専用です。バッテリー交換作業以外の整備や修理、バッテリーへの充電などには使用しないでください。

事前準備・使用方法

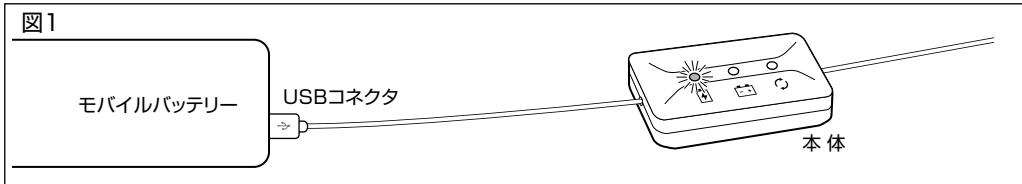
- 使用するモバイルバッテリーの取扱説明書を必ず確認のうえ、満充電状態のものをご用意ください。
- モバイルバッテリーの充電をしながら、本製品を使用しないでください。
- バッテリー交換作業を行う前に、必ず車両の取扱説明書の関連項目をご確認ください。
- エンジン・電源OFF後もACC状態が継続する車両(例:日産エクストレイル・キックス・サクラ・セレナ・デイズ・ノート・ルークス、三菱シエクシリーズ・テリカミニなど)については、車両の取扱説明書を確認のうえ、ACC状態が停止されるまでは本製品を使用しないでください。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、室内ランプ類のスイッチを「OFF」の状態にして点灯しないようにしてください。また、カーテシランプなど「OFF」にできないランプについては、ドアを閉めるなど点灯しないようにしてください。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、絶対にキーを挿したり、エンジン(パワー)スイッチを押さないでください。また、車両のドアを開けたり、キーレスエントリーやスマートキー(電子キー)を操作しないでください。車両の消費電流が本製品の出力電流を上回り、メモリーが消失するおそれがあります。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、車両側の電流消費を抑えるため、スマートキー(電子キー)は車両から離れた場所に移動させてください。金属製の缶など電波を遮断できる容器に入れることを推奨します。
- 駐車監視録画機能付きのドライブレコーダーなど、エンジン停止中も電源を消費する機器を装着している場合は、配線を外すなど、それらの機器が動作しないようにしてください。
- 交換する車両のバッテリーが完全に放電していると、既にメモリーが消失している場合があります。
- アイドリングストップシステム装着車の場合、バッテリー交換後に車両のバッテリー電流積算値などをリセットしないと、車種によりアイドリングストップシステムが正常に作動しなくなることがあります。リセット方法については車両販売店にお問い合わせください。

1. バッテリー交換作業前の準備


- 1-1. 車両のエンジン・電源をOFFにします。キーシリンダー装備車の場合はキーを抜きます。スマートキー(電子キー)装備車の場合は、スマートキー(電子キー)を車両から離れた場所に移動させてください。
- 1-2. ボンネットを開けるなど、車両のバッテリー交換作業ができるように準備してください。

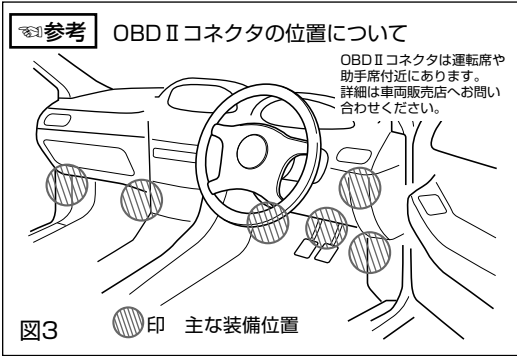
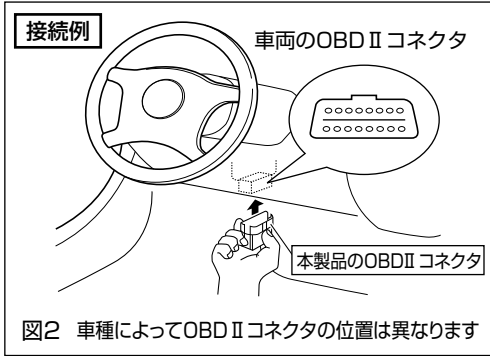
2. モバイルバッテリーの準備




- ⚠️ 必ず「3. 車両との接続」の前に、モバイルバッテリーの準備を行ってください。誤った順番でOBDIIコネクタを接続すると、車両に給電されず、メモリーが消失するおそれがあります。
- 2-1. 本製品のUSBコネクタを満充電状態にしたモバイルバッテリーのUSB-A端子に接続します。
※使用するモバイルバッテリーの取扱説明書を参照し、USBコネクタを正しい向きで接続してください。無理に差し込むと破損するおそれがあります。
- 2-2. モバイルバッテリーの電源をONにして、本製品のLEDインジケーター🔌が点灯することを確認してください(図1)。
※LEDインジケーター🔌が点灯しない場合、モバイルバッテリーの電源がONになっていないか、バッテリー残量が不足しています。モバイルバッテリーの状態を確認し、それでも点灯しない場合は、満充電状態の別のモバイルバッテリーに交換してください。

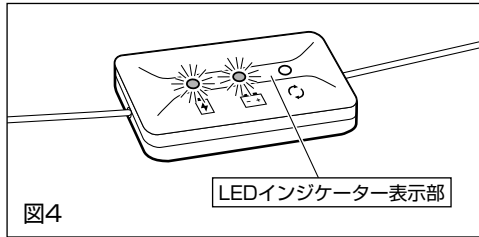




3. 車両との接続

3-1. LEDインジケータ-が点灯していることを確認し、本製品のOBDIIコネクタを車両のOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)へ接続します(図2、図3)。



3-2. LEDインジケータ-とが点灯することを確認します(図4)。OBDIIコネクタの接続が不適切な場合はLEDインジケータ-が点灯しません。図9を参照し、一旦OBDIIコネクタを取り外してから、改めて接続し直してください。

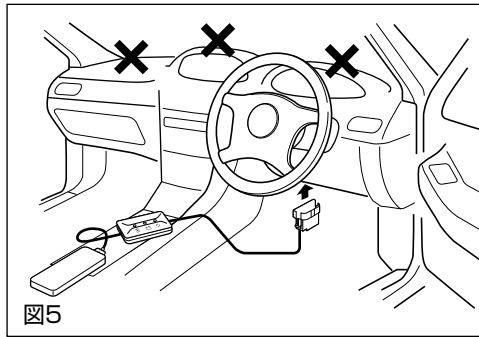


※コネクタの再接続後もLEDインジケータ-が点灯しない、またはLEDインジケータ-が点灯する場合は、バッテリー電圧が著しく低い状況のため、既にメモリーが消失しているおそれがあります。本製品を使用したバッテリー交換作業を中止してください。

3-3. センターコンソールなど、バッテリー交換作業中に目視できる場所へ本体を置きます(図5)。

⚠ 車両の電流消費を抑えるため、施錠せずに全てのドアを閉じ、必ず3分以上経過後にバッテリー交換作業を行ってください。

⚠ ダッシュボード上など、直射日光のあたる場所や高温になる場所ではモバイルバッテリーを使用・設置しないこと。異常発熱や発火する恐れがあります。



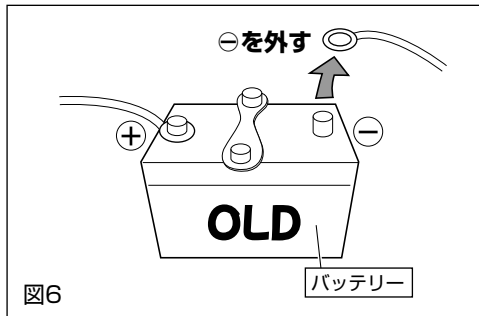
4. バッテリー交換作業




●本製品を使用してバッテリーを交換するときは、30分以内に作業を完了させてください。

●バッテリー交換作業中は車両のドアを開けたり、キーレスエントリーやスマートキーを操作しないでください。


※バッテリー交換方法の詳細については、バッテリーの取扱説明書などで確認してください。

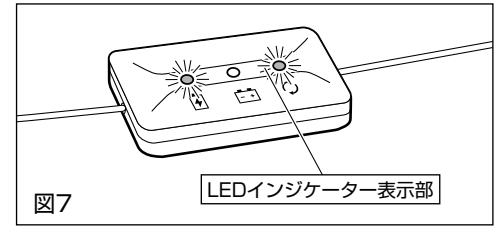
4-1. バッテリーの⊖側ケーブル端子を外します(図6)。



4-2. LEDインジケータ-が消灯し、LEDインジケータ-とが点灯することを確認します(図7)。

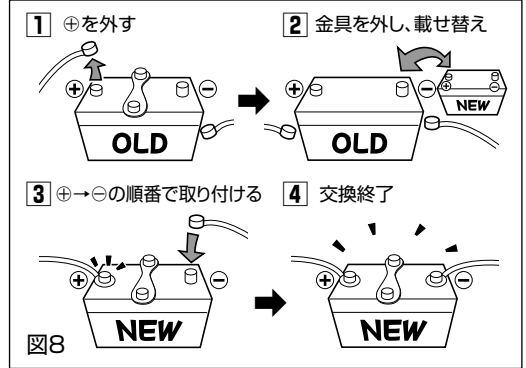
バッテリーの代わりに本製品から車両に電流が供給されることで、車両の各種メモリー消失を防ぎます。



※バッテリーの⊕側ケーブル端子を外してから、LEDインジケータ-が点灯するまでに時間差が生じる場合があります。



4-3. バッテリーの⊕側ケーブル端子を外します(図8-1)。バッテリー取付金具を外し、バッテリーを載せ替えます(図8-2)。新しいバッテリーを取付金具で固定し、⊕→⊖の順番でケーブル端子を取り付けます(図8-3、図8-4)。

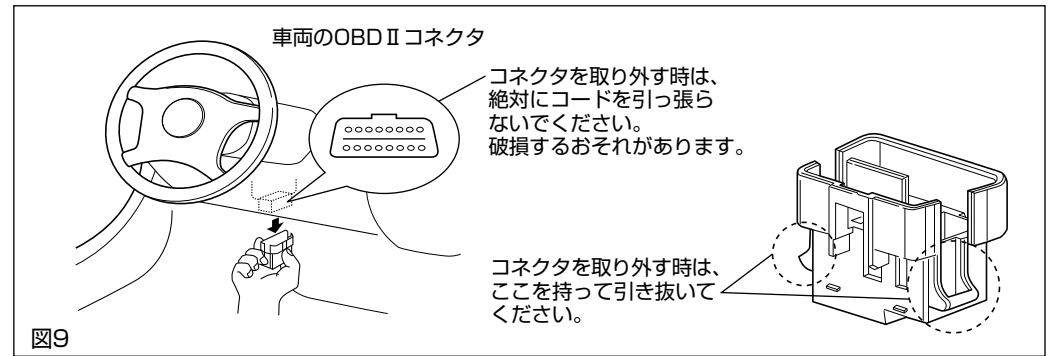
※⊕側ケーブル端子が車両のボディなど金属部に接触しないように注意してください。




4-4. LEDインジケータ-とが点灯することを確認します(図4)。

5. バッテリー交換作業後

5-1. 本製品のOBDIIコネクタを車両のOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)から取り外します(図9)。



5-2. LEDインジケータ-のみが点灯します(図1)。

本製品は必ずモバイルバッテリーを取り外した状態で保管してください。

※続けて別の車両のバッテリー交換作業を行う場合は、必ず使用するモバイルバッテリーを満充電状態の別のモバイルバッテリーに交換してください。